

～冠水による通行止めを解消しました～

整備目的及び整備効果

- 一般県道松代篠ノ井線は、長野市松代地区と長野市篠ノ井地区を結ぶ幹線道路であり、通勤・通学等に利用される生活道路でもあります。
- この両地区を隔てる一級河川千曲川を渡る「赤坂橋」は、昭和31年に架設された一部木橋を含む橋梁であり、対岸まで到達せず、河川敷内の道路へ接続しているため、洪水時には冠水による通行止めを余儀なくされていました。また、現橋には、歩道がなく歩行者・自転車の安全確保に支障をきたしていました。
- 平成21年3月の「赤坂橋」の開通により、洪水時の冠水による通行止めを解消し、生活道路としての交通の円滑化と、歩行者及び自転車の安全確保が図られました。



通勤・通学時の状況

河川出水時の道路冠水状況



河川敷内の県道へ接続されている状況

整備前



整備後

H21.3.22 完成供用